学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	デッサンⅡ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・素描を通して、観察力、形体、空間や明暗の秩序を把握する力、材質感を含めた描写力を養う。
・鉛筆素描を通して、日常物や自然物を観察し、形、空間や明暗の調子を把握し構想を練る。
・古典彫刻（石膏像）の木炭素描からは、造形美の法則と調和を学び、量塊感や動勢および質感表現を追求する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
形態や構造、質感など造形的な構造や全体をとらえ、画材の特性を生かして表す。
【思考力、判断力、表現力等】
深く観察し、どのように描くのか、形態や構造、質感、明度を捉えて創造的な構想を練り表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
制作を通じて自ら積極的に学び、考え、創造活動に生かすような態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	モチーフの陰影、質感を観察、理解し、それを的確に明暗の調子だけで表現する。	形を深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、質感・量感を生かした表現について構想を練っている。 多様なモチーフを経験して、光沢やテクスチャーに応じた表現ができる。	主体的に造形的な形の良さや美しさを感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎形体	オリエンテーション ①　基本形体を描く(鉛筆、木炭など)	a:基礎形体の造形要素の働きを理解している。 B:明暗・構成についての構想を練っている。 c:主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	プリント 学習活動の様子	プリント 学習活動の様子	プリント 学習活動の様子
	石膏デッサン	石膏像デッサン ①　鉛筆で描く 合評・相互鑑賞 ②　木炭で描く 合評	a:形や光、材質、基礎造形的な視点をもって基礎形体の造形要素の働きを理解している。 B:デッサンの表現形式の特性を生かし、明暗・構成についての構想を練っている。 c:モチーフ・素材の特性を生かし、主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ 学習活動の様子
2学期	卓上モチーフ	モチーフを描く1 ①　卓上モチーフを描く 合評	a:　基礎形体の造形要素の働きを理解している。 b:　デッサンの表現形式の特性を生かし、明暗・構成についての構想を練っている。 c:　主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ 学習活動の様子
	着彩デッサン	モチーフを描く2 ①　3点モチーフを描く ②　静物画を描く 自然物の表現を学ぶ (透明水彩)	a:　自然物を観察し良さを生かす構想を練っている。透明水彩の描きかたを理解する。 b:　着彩の構想を練っている。 c:　主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ 学習活動の様子
3学期	デッサン	モチーフを描く3 入試対策等を意識し、描く まとめ	a:　造形要素の働きを理解している。 b:　デッサンの表現形式の特性を生かし、特に構成については空間も意識し、構想を練っている。 c:　主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ	作品 制作時のメモ 学習活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度